

神奈川ウォーキング参加H22-21

蘆花と維新前夜の歴史を思い、桜花に愛でられ4人男が行く

蘆花公園から烏山川緑道を豪徳寺・松陰神社、そして馬事公苑・桜の砦公園へ

- ・日時：平成22年4月2日（金）
- ・集合：京王線蘆花公園駅 10:30 予定→11:10（電車風の為ダイヤ乱れ）
- ・コース：蘆花公園駅→世田谷文学館→蘆花恒春公園（粕谷八幡神社・蘆花記念館）→烏山川緑道→石仏公園→豪徳寺→勝光院客殿→松陰神社→〈世田谷通り〉→馬事公苑→砦公園→〈谷戸川沿い〉→吉沢橋→二子玉川駅到着 18:10。31,000歩、約20km
- ・参加者：仲（L）・田村・大平・伊藤精鋭？4人

概要と所感

天気予報は午前中強風と雨。当日朝時々小雨が降る程度。風の影響で電車遅れが発生。私も10時過ぎ目標が10分遅れで蘆花公園駅に到着。田村さん寂しく1人でお待ち。事前参加予定は仲さんから7人と聴いており、小雨決行と決めていましたが、少々不安になりました。10時半になり田村さん仲リーダー携帯電話入れ。今新宿との事。その内大平さんが見え、最終的に4人で、11時10分出発。前半は小雨パラパラ程度で風も止み、予定通りのコースに行く。雨も止み、行く先々に桜の並木が我々4人組を温かく迎えてくれた。仲さん砦公園を「ひらめきコース」にもう一度選んで熟女連に見せてあげたいと。歩行距離公表13kmとなっておりましたが、これは少々控え目にして、ご配慮されていると思いましたが（私の事前調査では18km位）、疲れを感じさせない程、素晴らしい光景の連続に4人男も大感動でした。東京農大では入学式。昨日は日本全国入社式。やはり桜は日本人門出になくはならぬ花です。私も3月30日満70歳、桜花感動の20kmで力強くシルバースタート出来ました。仲・田村・大平さん溝口でのアフターウォークを含め、有難うございました。

〈ポイントメモ（ホームページ他から引用）〉

世田谷文学館



荻原朔太郎、江戸川乱歩、林芙美子、北杜夫等が見つめ、物語に描いた街の資料館。前の掘りには色鮮やかな鯉。（65歳以上100円）今回は時間の都合で入館せず。



粕谷八幡神社(蘆花公園の入り口にある、写真右)

徳富蘆花はこの神社の杉の側にたたずみ再び会

か判らぬ客人を見送った。「みみずとたはこと」の著書の中で「わかれ杉」と名付けた。

蘆花恒春園

徳富蘆花が明治40年から昭和2年亡くなるまでの20年間、移り住み晴耕雨読の生活を送った邸宅を、愛子夫人が没後10周年で寄付した。秋水書院や母屋の他、蘆花手植えの竹林が残され、ここ



に蘆花夫妻の墓(写真上左)もある。恒春園及び園内の記念館も無料。

芦花公園



烏山川遊歩道

芦花公園南口を出ると環八通りの歩道橋を渡り、世田谷区立温水プール（正面のゴミ焼却場から温水を引き）のレストラン内で昼食。烏山川遊歩道は世田谷区船橋から三宿までの約7 kmの緑道で烏山川を暗渠にして遊歩道にしている。



ここの桜並木も綺麗。古木の幹に咲く桜が可憐で心温めてくれる。豪徳寺・松陰神社に迷わず行けます。途中昔懐かしい豪徳寺近くの宮の坂駅で「玉電」を見る。歐友学園前の「海拔高度34,44m」も面白い。



豪徳寺



豪徳寺は文明12年（1480）吉良政忠が伯母で頼高の娘である弘徳院のために「弘徳院」と称する庵を結んだ。当初は臨済宗で天正12年（1584）曹洞宗に。寛永10年（1633）彦根藩主2代目井伊直孝が井伊氏の菩提寺として創建整備した。寺号は直孝

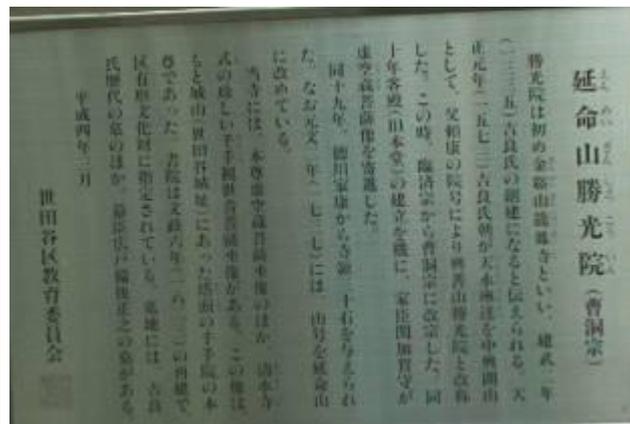
の戒名「久昌院殿豪徳天居士」による。大阪城夏の陣と冬の陣での活躍が徳川家康に認められ彦根藩は5万石から譜代大名最高の30万（後に35万石）になり武蔵野国のこのあたりを支配していた。井伊直孝が猫に招き入れられたという故事で「招き猫」が有名であるが、幕末の大老権力実力者（13代目藩主）井伊直弼之墓所と井伊家と彦根藩にかかわるお墓が多数ある。伊井直弼は1860年「桜田門外の変」で暗殺される。



幕末の大老権力実力者（13代目藩主）井伊直弼之墓所と井伊家と彦根藩にかかわるお墓が多数ある。伊井直弼は1860年「桜田門外の変」で暗殺される。

勝光院客殿（延命山勝光院、曹洞宗）

竹林が有る綺麗なお寺。吉良上野介の御墓が有る。



松陰神社



吉田松陰 1830年長州藩士杉百合之助の次男として生まれ、1834年叔父の山鹿流兵学師範吉田大助の養子となる。翌年大助が死去した為、同じく叔父の玉木文之進が開いた松下村塾で指導を受けた。しかしアヘン戦争で清が西洋列強に大敗した事を知って、山鹿流兵学が時代遅れと痛感する。西洋兵学を学ぶため嘉永3年（1850）九州に遊学する。又江戸に出て佐久間象山の師事を受けた。1853年ペリー艦隊来航、アメリカ密航失敗で幕府に自首し、佐久間象山と共に伝馬町牢獄に送られた。1855年に出獄され、杉家に幽閉の身分に処される。1858年叔父が主宰していた松下村塾の名を引き継ぎ、杉家の敷地に「松下村塾」を開塾した。長州藩下級武士の伊藤博文、久坂玄端などの面々を教育。1858年「日米通商条約」締結に反対し、老中首座間部暗殺を謀るも久坂・伊藤・桂等に反対され、長州藩に自首し野山獄に送られた。尊王攘夷に加担したとして、大老井伊直弼による安政の大獄で1859年10月27日斬刑に処され、享年30歳、生涯独身であった。刑死後、隣接した小塚原回向院（荒川区）に葬られたが、高杉晋作ら攘夷派の志士により、現在の世田谷区若林に改葬された。靖国神社にも維新殉死者として合祀されている。

・幕末、安政の大獄指揮者「伊井直弼」と犠牲者「吉田松陰」が奇しくも1kmと離れていない所で、永遠に眠る。

馬事公苑



昭和15年開苑。昭和25年から中央競馬の騎手養成所として開設され、57年競馬学校開校がされるまで、我々の良く知る名騎手を生んだ。第5期生に増沢未央・武邦彦、第15期生に岡部幸雄・福原洋一郎等がいます。三つ苑訓「騎道作興」「百練自得」「人馬一如」。サラブレットの雄姿は時間が遅く、厩舎にお入りで、残念ながら見れませんでした。



砧公園

紀元2600年（昭和15年）記念事業として東京府が計画した6大緑地の1つとして、昭和32年開園。戦時中は防空緑地、戦後は都民ゴルフ場（当時の使用料コース1日¥300）として昭和30年から41年廃止まで。桜930本、392千㎡、サイクリングコース1,75km

・4人で元ゴルフコースを歩きながら、地を這うような枝に綺麗な桜に包まれ写真を撮りました。昨日ここで別のグループ30人と花見をしていたのですが、今日は時間も遅く、人が少なく、桜の傍に近づくことが出来最高でした。

・帰りは砧公園の中を流れている「谷戸川」沿いの道を「岡本静嘉堂」横を通って、二子玉川駅18時10分無事到着しました。溝口でアフターウォーク！！

